

真庭市の お仕事の 金の使い道



ラブリーちゃん



まにわくん



湯原 温丸
(ゆばら あったまる)

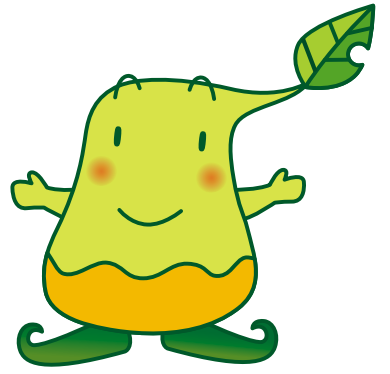
広報まにわ別冊
平成23年度
予算の概要



キリタロー

観光キャラクターの「まにぞう」です。
自然がいっぱい、やさしい人がいっぱいの
真庭が大好きなんだ。
今回は仲間たちと一緒に、予算について伝えるよ。





わたしの名前は「スイ
トン(粹呑)」。古くから
蒜山の地域に住んでい
る怪物である。人間が考えたり思っ
たりしていることはみんな分かって
しまうので、何でも聞くがよい。



ありがとう。ぼくはいろ
んなことに興味がいっぱい
なんだ。それでは最初に、聞くけど「予
算」ってどんなものなの。

家庭で使う「収入」は行政では「歳
入」、「支出」は「歳出」ということ
で話をしていこう。「予算」とは4
月から翌年3月までの1年間の歳入
と歳出を前もって見積もることなの
だ。真庭市では、新しい年度が始ま
る前に、その一年間でどのくらいの
歳入があるのか。そして、その1年
間の行政サービスをどのように行う
のかを計画するのだ。

ちよひと気になる予算のこと

基礎知識

なら、「予算」はなぜ必要なのかな。

今後1年間の行政サービスを計
画的に行うためだよ。市長には予算
を執行する権利があるのだが、市長
が提出した予算は、議会の議決を得
られないと執行できないのだ。この
予算の執行が行政サービスの提供と
なるのだよ。

つまり、市と市民を代表する市議会
がよく話し合うことで、より良い予
算の使い方になるってことかな。

そのとおりだよ。予算を決めるこ
とは民主的に行われているのだ。

それじゃあ次は真庭市の「予算」の
大きさをどれくらいなの。

平成23年度は、一番大きな財布
の一般会計は約283億円、12ある

「特別会計」と「公営企業会計」

通常のお金の出し入れをするのは「一般会計」だが、特定の事業に使うお金は「特別会計」や「公営企業会計」に分かれているのだ。いろいろな仕事があるので、会計が煩雑にならないように分けているのだよ。

■特別会計（国民健康保険、介護保険、簡易水道事業など全12会計）

一般会計とは別に、特定の事業をするための会計だよ。

■公営企業会計（水道事業、湯原温泉病院事業、農業共済事業など全3会計）

民間と同じように自治体でも法律で収益が認められている会計なのだ。

真庭市総合計画〔基本構想・基本計画・実施計画〕

総合計画は3つの計画で構成されており、それぞれ計画の期間が違うのだ。

1基本構想…10年間を通した市の目標や進むべき方向を定めている。

2基本計画…基本構想を実現するために、現状と課題を分析し、前期・後期の各5年間に分けて、必要な施策を示しているのだ。

3実施計画…基本計画の施策を具体的に示した計画なのだ。3年を1つの区切りとして、計画の進捗状況をみながら毎年見直しを行っているのだ。

基本
構想

平成18年度～平成27年度 ≪計画期間10年間≫

基本
計画

平成18年度～平成22年度
≪計画期間5年間≫

平成23年度～平成27年度
≪計画期間5年間≫

実施
計画

※3年を区切りでローリング方式で、
毎年見直しを行っています。

23年度 24年度 25年度
24年度 25年度 26年度
25年度 26年度 27年度

ぼくの名前は「まにぞう」。真庭市の観光キャラクターとして頑張っているよ。今回は真庭市の予算について皆さんに説明しようと思うんだけど…、予算って難しい言葉が出てきて、数字がいっぱいで、実はあんまり自信がないんだ。だから、古くから蒜山に住んでいる「スイトン」に予算のことを聞いてみたんだ。一緒に勉強してみよう。



この印刷紙は、環境にやさしい
植物性インクを使用しています。



この印刷の一部には、水質保全に有効な
永年印刷方式を採用しています。

この印刷紙は、再生紙を
使用しています。

特別会計は全部で約158億円、独立採算の3つの公営企業会計は約32億円だから、全部を合わせると約473億円になるのだ。

へえー、大きな数字だなあ。見当もつかないや。

一般会計はこれでも小さくなったのだよ。合併当時は300億円を超していたからね。予算は限られた財源を効果的に使えるよう求められるのだ。毎年経常的に支出されるものは、本当に必要なかどうか考えて最低限にしているし、政策的な予算は、真庭市総合計画の実施計画に沿って計画的に行われているのだ。総合計画は23年度から後期計画がスタートしたのだよ。

じゃあ真庭市の予算の特徴は？

一般会計の歳入を性質的に区別してみるぞ。市が自主的に集めることができる市税や使用料、分担金などの財源を「自主財源」、国や県からの収入や借金などは「依存財源」というのだ。真庭市の場合、自主財源が4分の1しかないのよ、国や県借金に依存した歳入といえよう。また、歳入の中には、自由に使えるものと、使い道が決まっているものがあるよ、ということを知っておくとよ。

そうなんだ。借金もするんだね。

一つの理由には、施設の整備や建設には、一度に多額のお金が必要である。もう一つに道路や学校などの施設は将来もずっと利用するものなので、お金を借りてゆっくり返す。そうすれば、将来利用する人にも負担してもらえからなのだ。もちろん借りの額は以前より減っており、借りるときは、地方交付税として戻ってくる種類を選んでいるのだよ。

市民一人に、どのくらいお金を使っているの。

一般会計の歳出は、市民一人当たり約56万円使うことになる。目的別に下の表にまとめてみた。目的別の項目で意味が分かりづらいのが、民生費と公債費。民生費とは高齢者、障がい者、児童福祉などの福祉にかかるお金で、介護・国保特別会計への繰入金も含まれる。公債費は借金の返済で、この一年に支払うことになる元金と利子の合計なのだ。

よし、予算のことがわかってきたぞ。

このあとも、まだまだページが続くが大丈夫かな。

大丈夫だよ。興味がさらにわいてきたよ。頑張って説明するぞー。スイートンさん、どうもありがとう。

歳入「自主財源」と「依存財源」

一般会計の歳入を性質別に区分すると「自主財源」と「依存財源」に分けることができるのだ。

■自主財源(23.1%)

市が自主的に収入できる財源で、市税、分担金および負担金、使用料および手数料、繰入金、財産収入などが該当するぞ。

■依存財源(76.9%)

国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入だ。地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、市債などが該当するのだ。

歳入の区分と説明	
市税	皆さんが真庭市に納めている税金だよ
分担金および負担金など	事業を行ううえで、その事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて収めてもらうのだ
使用料および手数料など	施設使用料や証明書発行の手数料などだよ
市債	市が国や金融機関などから借り入れる借金のことだよ
繰入金	取り崩した基金などだよ
地方譲与税 地方消費税交付金 地方交付税など	皆さんが国に納める税金の一部で、使い道が自由な一般財源なのだ
国・県支出金など	皆さんが国や県に納める税金の一部で、それぞれ使い道が決められているのだよ

歳出 市民一人当たりのお金の使い道(目的別)

市民一人当たりの一般会計予算を福祉、教育、消防など暮らしの目的別に分けて見てみると次のようになる。

約56万円

市民一人当たりの予算額

歳出の目的別区分(説明)と一人当たりの金額(円)		
議会費	議会運営のための経費	5,532
総務費	市役所の運営、広報などのための経費	62,242
民生費	福祉施設の運営、生活扶助、児童および老人福祉などの経費	139,867
衛生費	市民の健康維持やごみ処理などの経費	62,908
労働費	労働者の福祉向上や就労支援などに係る経費	292
農林水産業費	農林漁業の振興、技術の普及のための経費	37,409
商工費	商工業の振興、中小企業、観光振興のための経費	13,972
土木費	道路、橋、河川、公園など基盤整備や維持管理に係る経費	46,839
消防費	風水害、地震など災害から市民の生命、財産を守り、災害を防ぐ消防活動経費	25,421
教育費	学校教育、生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツ振興のための経費	72,951
災害復旧費	災害により被災した施設の復旧に係る経費	268
公債費	事業を行うために国や金融機関などから借り入れた市債(借金)の返済金	89,097
諸支出金	支出の性質により、他の支出科目に含まれない経費	1,311
予防費	緊急に支出を必要とする場合のための経費	1,978
合計		560,087

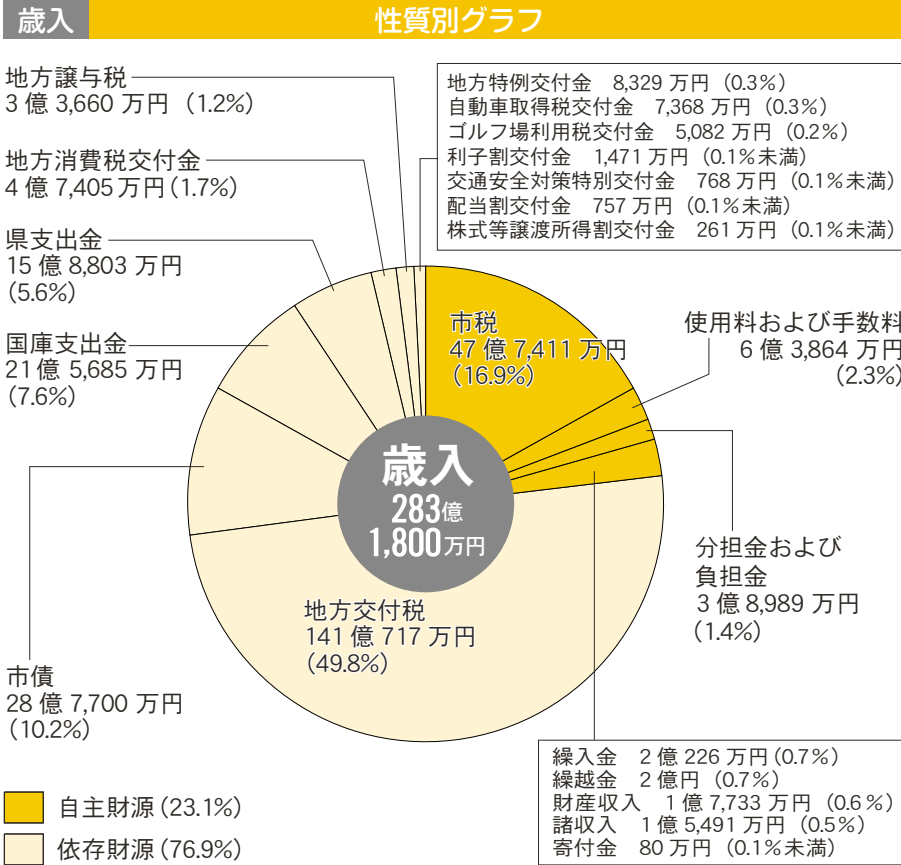
※人口は、50,560人(平成23年4月1日現在)で計算しています。



真庭市の一番大きなお財布

一般会計

このページでは、真庭市の一番大きなお財布が出入りする会計の一般会計を見てみるよ。一般会計の総額は283億1,800万円だったんだ。この額は、昨年より7,700万円少なく、比率でいうと0.3%の減なんだ。歳入は性質別、歳出は性質別と目的別の2つでグラフを使って説明してみるよ。



依存財源の多い歳入

一般会計の歳入は自主財源と国や県などに頼った依存財源に分けられるんだ。自主財源が多いほど安定しているといえるんだよ。真庭市は自主財源が歳入全体の約23%、昨年度より約4億1千万円ほど少ない額なんだ。多くを国などに依存しているんだね。自主財源の多くを占める市税は、個人市民税と固定資産税は減額となったけど法人市民税が増額となった。昨年度とほぼ同額、本庁舎の完成で建設基金が皆減になったことが自主財源の減額の原因かな。依存財源の大半を占める地方交付税は昨年度比2.6%増、国庫支出金は学校施設の補助金の増などで8.6%増額、市債(借金)は本庁舎の完成で建設事業減により5.7%減などが歳入の特徴かな。

歳入

市税 47億7,411万円

市民皆さんが真庭市へ納める税金です。予算全体の約17%です。



ラプリーちゃん

固定資産税 25億7,213万円 (土地や家屋などをにかかると)
 個人市民税 14億1,324万円 (所得などに応じて納める税)
 法人市民税 3億8,796万円 (市内の会社が収益に応じて納める税)
 軽自動車税 1億4,231万円、たばこ税 2億3,347万円、
 入湯税 2,453万円、その他の税 47万円

おでこにハートマークの入ったジャージ牛よ。蒜山高原の牧場まで会いに来てね。

市債 28億7,700万円

銀行などからの借金だよ。公共施設の建設費などは一度に多額のお金が必要なんだ。将来の利用者にも負担してもらうという考えもあるんだ。

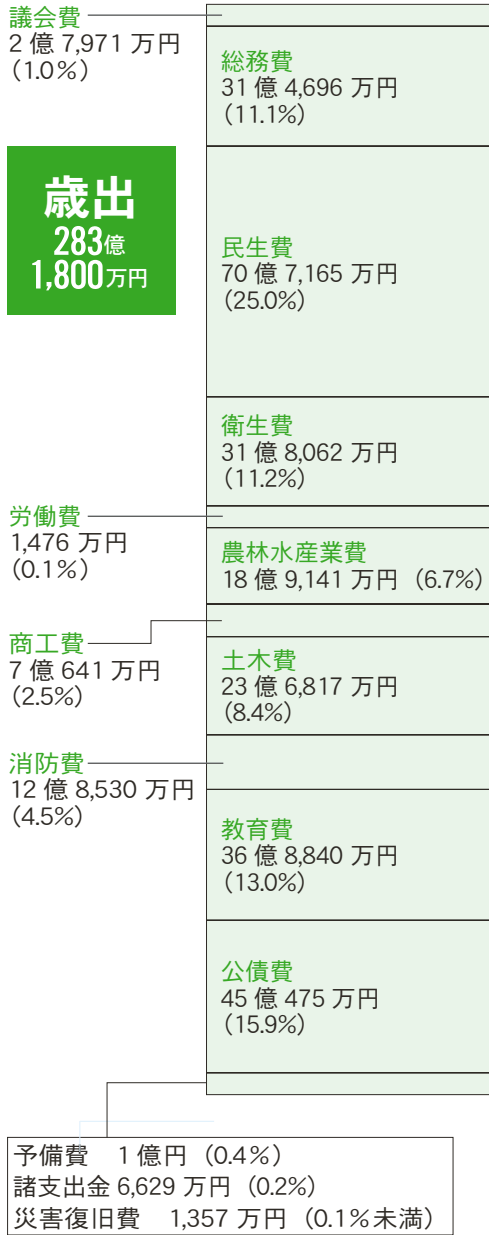


キリタロー

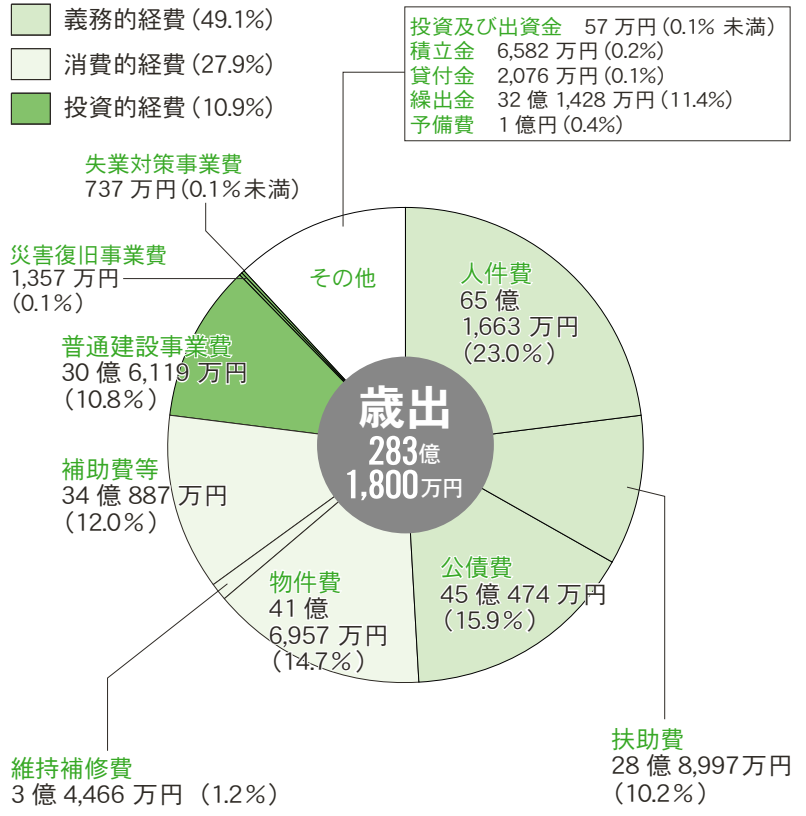
施設整備事業債 2,490万円、防災対策事業債 1億4,750万円
 地方道路等整備事業債 7,600万円、辺地対策事業債 8,320万円
 過疎対策事業債 10億6,040万円、臨時財政対策債 14億8,500万円
 ※事業の種類によって借金もいろいろあるんだよ。

霧深い落合地区で生まれたんだ。JR 姫新線追分駅の「キリタローの館」の復活を目指して頑張っているよ。

歳出 目的別グラフ



歳出 性質別グラフ



義務的経費増の歳出

性質別と目的別の2つのグラフは、共に一般会計を表したグラフなんだよ。性質別で見ると、昨年度と比較して主な増額は、人件費が臨時職員の任期付職員制度導入で8割増、扶助費が自立支援給付費の増などで7.3割増、補助費は8.7割増、繰出金は特別会計への繰り出し増により6.7割増などが挙げられるよ。減額は、臨時職員経費の関係で物件費が6.7割減、普通建設事業は本庁舎の完成などで2.2割減となっているんだ。目的別では、教育費は学校施設の建設で21.2割増、民生費は6.8割増、衛生費は8.8割増、総務費は本庁舎完成で32.2割減額となっているよ。

歳出

義務的経費

人件費、扶助費（生活保護費、障害者支援費などの福祉や医療）、公債費（これまで借りている借金の返済）は、毎年必ず支出しなければならない経費なんだ。

湯原 温丸 (あつたまる)

湯原温泉のことならまかしてね。温泉はいいよ。

消費的経費

後年度に形を残さない性質の費用だよ。物件費（光熱水費、消耗品、通信運搬費など）や施設の維持補修費、補助費（特定の目的のため支出のお金）などなんだ。

まに ONE (わん)

バイオマスを推進しよう！勝高生がデザインしたんだ。

歳入

地方交付税 141億717万円

どの地域でも同じように行政サービスを受けることができるように国から配分されるものです。

まにわくん

普通交付税 133億6,717万円
特別交付税 7億4,000万円

コミュニティバスまにわくん♡だよ。どんどん利用してね。

投資的経費

小・中学校の建て替えや大規模な改築、道路や公園・住宅などの整備・建設といった、将来にも残る都市基盤の整備にかかる費用だよ。

スイスイくん

下水道を普及するために頑張っているよ。

その他の経費

積立金は各基金への積み立て、繰出金は特別会計への繰り出し、予備費は緊急に支出を必要とする場合のために予定しているものなんだ。

マナビー

故石ノ森章太郎がデザインした生涯学習マスコットだよ。

地方譲与税 3億3,660万円

国は、国税として徴収した税を一定の基準で地方公共団体に譲与するのよ。

うらっち

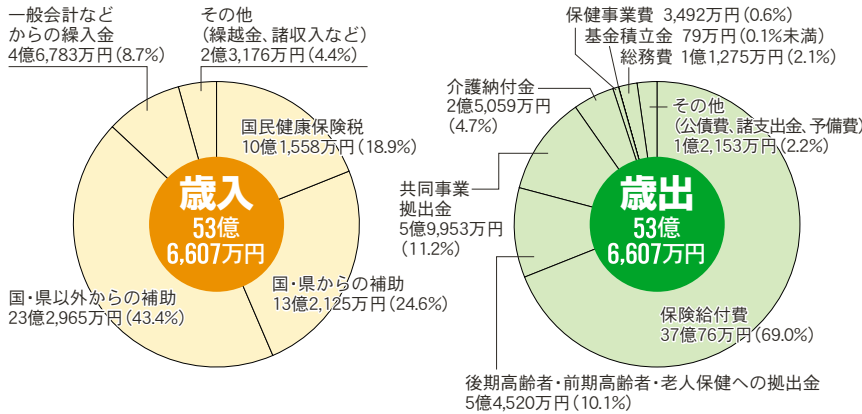
地方揮発油譲与税 9,936万円
自動車重量譲与税 2億3,724万円

鬼の女の子をイメージした岡山県のキャラクターよ。



国民健康保険事業 53億6,607万円(1.1%)

国民健康保険に加入している人が病気やけがで診療を受けたとき、医療費の一部を負担しているんだ。市ではこの事業で特定健康診査などを行うほかに、保険に加入している人の健康づくりや療養環境の向上のための事業を行っているよ。



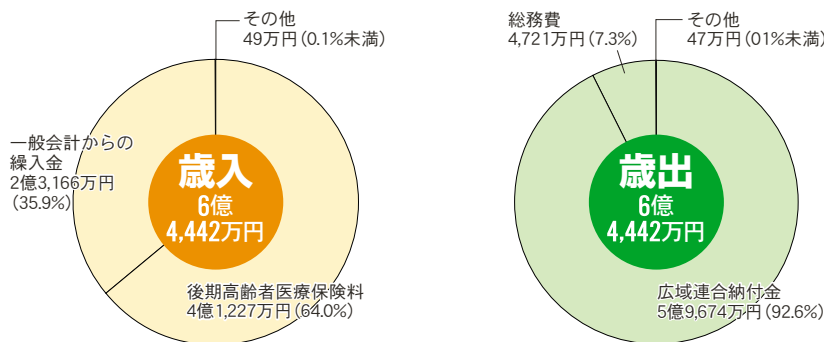
特別会計

真庭市にはいろいろな仕事がある



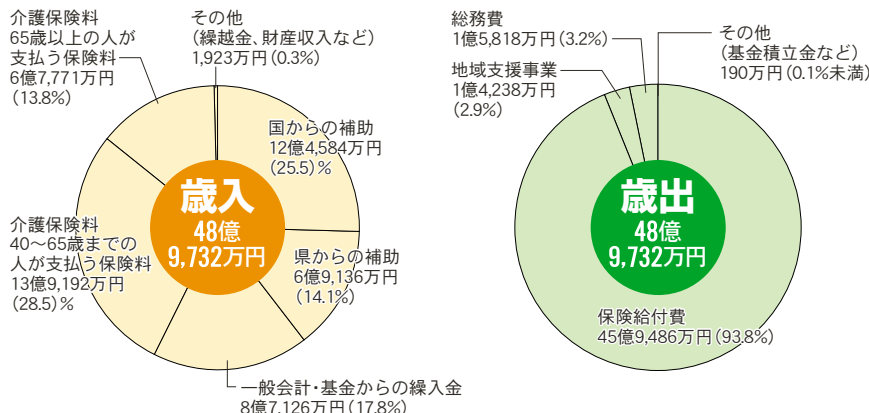
後期高齢者医療事業 6億4,442万円(△13.6%)

75歳以上の人は、高齢者の医療の確保に関する法律で医療の給付を受けることができます。この制度の運営は岡山県後期高齢者医療広域連合が行っていて、市は保険料の徴収や各種申請などの窓口業務を行っているのよ。



介護保険事業 48億9,732万円(7.0%)

介護保険は、介護や支援が必要となったときに介護サービスや介護予防サービスを提供することで、保険に加入している人とその家族を支援する制度なんだ。サービス費用のうち、本人負担を除いた費用を事業者などに支払っているよ。



通常の出し入れをするお金は一般会計だけれど、特定の事業のために使うお金は特別会計、公営企業会計という会計で事業を行っているんだ。特別会計の中も、国民健康保険事業、下水道事業など12の仕切りに分かれていて、それぞれの目的以外には使わないことになっているんだ。主な事業については、歳入・歳出をグラフにしてみましたよ。

その他の特別会計

介護保険特別会計

〔介護サービス事業勘定〕

6,449万円(12.1%)

要支援1、2の人へ介護予防サービスを行う会計。

浄化槽事業特別会計

1億3,663万円(△25.4%)

下水道の事業区域外で浄化槽を設置する事業。

分譲宅地事業特別会計

6,461万円(△0.6%)

市が所有する宅地(しらうめ団地ほか)を分譲する事業。

津黒高原観光事業特別会計

4,680万円(△68.1%)

津黒高原荘および周辺のスキー場、キャンプ場などを運営。指定管理委託料などになったため大幅減。

クリエイト菅谷事業特別会計

512万円(△74.6%)

美甘地区の農村型リゾートを運営する会計。指定管理委託料のみになったため大幅減。

温泉事業特別会計

1億6,080万円(31.7%)

湯本温泉館および足温泉館を運営する会計。配湯施設の整備も行います。

公営企業会計

農業共済事業特別会計

3億1,048万円(0.8%)

農作物、家畜、果樹、畑作物、園芸施設共済を行う事業。事故によって生じた損害に対して共済金を交付します。

水道事業会計

10億273万円(11.8%)

給水人口が5,000人を越える施設をいいます。真庭市では現在3つ(久世、勝山、落合)の上水道施設があります。

国民健康保険湯原温泉病院事業会計

18億4,541万円(5.0%)

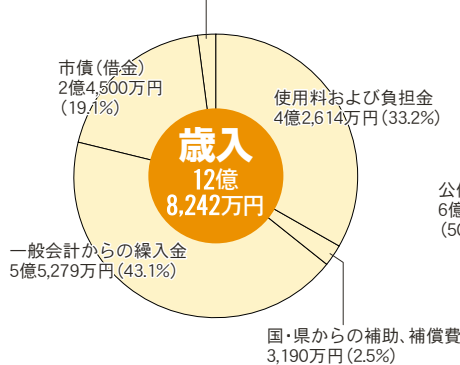
湯原温泉病院を運営する会計。

簡易水道事業 12億8,242万円(1.0%)

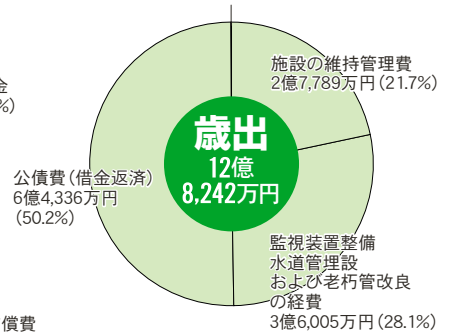


簡易水道は給水人口が100人を越え5,000人以下である施設をいうのよ。市では現在31の簡易水道があって、施設の維持管理とともに、未普及の地区にも水道を引くことができるよ頑張っているのよ。

その他(財産収入、繰越金など)
2,659万円(2.1%)



その他
112万円(0.1%未満)

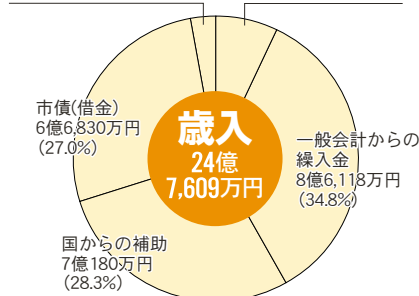


公共下水道事業 24億7,609万円(33.3%)

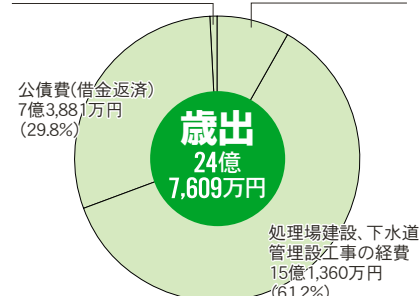


公共下水道は久世、勝山、美甘、八束、川上、中和地区で使われているよ。施設の維持管理と、下水道が使える地域を広げる工事を落合・久世・勝山(管布設・終末処理場建設)で進めているので、たくさんのお金が必要なんだ。

その他(繰越金、水道移転受託費など)
7,094万円(2.9%)



その他(予備費、負担金など)
2,049万円(0.8%)

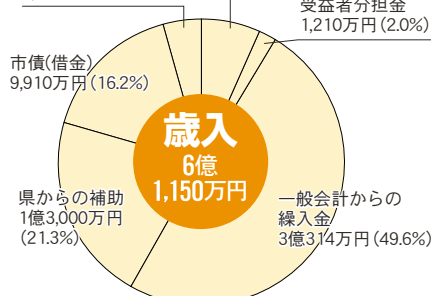


農業集落排水事業 6億1,150万円(△11.4%)

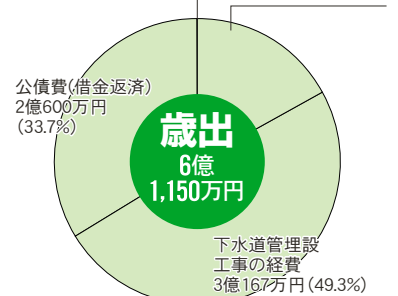


農業集落排水事業は農業振興地域の下水道で、現在、北房・落合・勝山・八束・中和地区で使われているよ。各施設の維持管理費と、北房地区では下水道が使用できる区域を広げるための管布設工事を進めているんだ。

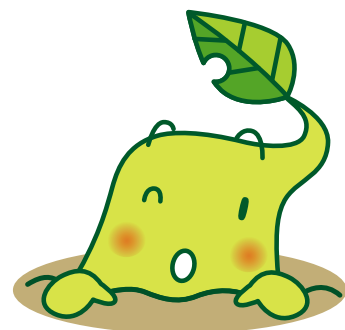
その他(諸収入、繰越金など)
2,650万円(4.3%)



予備費
30万円(0.1%未満)



※各会計予算額のかっちは前年度当初予算との比較。円グラフ内のかっちは歳入歳出総額の比率です。



住みよい真庭市とするために

主要事業

真庭市では、「賑わいと安らぎの杜の都真庭」を目標に、住みよい地域の実現を目指しているんだよ。その実現に向けて、平成23年度から真庭市総合計画の後期計画がスタートして多くの政策が打ち立てられたんだ。基本計画の6つの体系に沿って、優先的に実行しなければならぬ「主要事業」を説明していくよ。

I. 地域資源を活かした産業のまちづくり

真庭市には地域資源があふれているんだ。その重要な産業の振興は、ほかが伝えるね。



まにぞう

農林振興

○農林業振興
農業振興各種補助金

1千100万円

財源

市の負担 1千100万円

販路拡大、栽培技術の向上、担い手育成強化を行う農林漁業団体への補助金だよ。今年度は、販売を視野に入れた新たな生産活動を支援するチャレンジ事業補助金、集落営農組織の機械買い換えを支援する補助金を新設したんだよ。

農林振興

有害鳥獣対策事業 1千619万円

財源

県の補助 287万円

市の負担 1千332万円

農地を荒らすシカ、サル、イノシシなどを捕獲する補助金、有害鳥獣駆除班の活動費、電気柵やトタン、ネットなどの防護柵を設置するための補助金だよ。

農林振興

真庭あぐりネットワーク推進事業

1千596万円

財源

県の補助など 789万円

市の負担 807万円

栽培相談や直売施設の情報を提供する園芸相談員を設置して、直売所

農林振興

中山間地域等直接支払交付金事業

1億9千168万円

財源

国・県の補助 1億4千344万円

市の負担 4千824万円

へ新規に出荷を希望する小規模な農家を支援するよ。今年度は、市内関係機関が連携して、直売所の品ぞろえを豊富にしたり、都市圏で市内産の農畜産物を定期的に販売するなどしてネットワークを深めるんだ。農家の人たちが作る楽しさを感じてもらえる取り組みを始めるよ。

耕作放棄を防止して、水源かん

養など農地のいろんな機能を発揮するため、農業による集落機能を維持する協定を結んだ集落に、お金が支払われる事業だよ。平成22年度の協定数は182集落で、締結面積は約1,594haだったんだ。

農林土木

小規模土地改良業 3千980万円

財源

県補助・負担金 2千189万円

市の負担 1千791万円

生産性の高い農業経営を行うため、農道や農業用水路の改修を行うよ。今年度は中八束地区ほか7地区を予定しているんだ。



真庭産の農産物は大人気（道の駅 醍醐の里）

農林振興

公有林整備事業

1億4千715万円

財源

国・県の補助 6千378万円
立木売却収入など 5千509万円
市の負担 2千828万円

市有林の適切な保育の実施と作業道を整備する事業だよ。作業道の開設を5ヶ、下刈169ヶ、収入間伐63ヶを予定しているんだ。

緊急特定間伐促進事業(単独)

1千150万円

財源

市の負担 1千150万円

36〜45年生のスギ・ヒノキは今まで間伐などの補助がなくて、整備が



最新の機械による間伐作業

進んでいないんだ。市が県の間伐事業の5割分を上乗せして補助することで、森林環境の整備を促進していくよ。

林地残材利活用促進事業 500万円

財源

市の負担 500万円

間伐時に山林に放置された残材を山林から中間集積地まで運び出す運賃の一部を市が補助するよ。補助額は1立方メートルで千円だよ。

木材需要拡大事業

1千750万円

財源

立木売却収入 700万円
市の負担 1千50万円

市内製材所で製材した乾燥材を8立方メートル使用するなど、市が設けた一定の条件を満たす木造住宅を市内の建築業者で新築する人に、一戸当たり50万円を補助するよ。家を建てるときは真庭産材を使ってほしいな。

○商工業振興

商工業振興対策事業費補助金

4千744万円

財源

市の負担 4千744万円

商工観光

熱意を持って新しく事業を始めようという人や、お店の魅力アップ・空き店舗の活用をする人を支援するんだ。また、市内の施工業者により住宅の改修を行う人を対象とした、住宅リフォーム補助金も引き続き行うよ。

高齢者買い物支援事業 470万円

財源

光をそそぐ基金 265万円
市の負担 205万円

地域の小売業者を対象に、中山間地での移動販売のビジネスモデルを構築するための調査を行うんだ。高齢者などの「買い物弱者」といわれる方の増加に対応していくんだよ。

商工会・観光イベント補助事業

1千590万円

財源

市の負担 1千590万円

落合納涼花火大会、久世リバーサイドフェスティバル、ひるぜん花火大会など真庭商工会が主催する8つのイベントの補助や、北房コスモスまつり、ひるぜん天の岩戸桜まつり、湯原露天風呂の日、勝山のお雛まつり、久世祭りだんじり喧嘩など13の地域づくりイベントへの補助金だよ。

商工観光

商工観光

住宅リフォーム補助金

市内業者の支援のため、市内の施工業者による住宅の改築や改修を行う人を対象に補助するよ。補助率は対象経費の1/10(上限20万円)だよ。

個店の魅力アップ推進事業補助金

新改築などで店舗の魅力づくりを図ったり、空き店舗の活用に必要な賃貸料に対して補助するよ。魅力づくり事業は1/3以内(上限100万円)、空き店舗活用は4/5以内(上限月5万円以内)だよ。

起業支援事業補助金

市内在住で独創性・発展性をもって起業する人に、補助があるよ。(事務所も市内設置)

農林漁業団体等組織活動促進事業費補助金

市内の農林漁業団体で、販路拡大、地産地消、食の安全、有機農業、交流体験、担い手育成、優良たい肥利用、団体育成強化などの取り組みに補助するんだ。補助率は対象経費の1/2以内だよ。

農林漁業チャレンジ事業費補助金

市内の農林漁業団体で、新技術・新品種の導入、販路開拓などの新たな取り組みに補助するよ。補助率は対象経費の1/2以内(上限30万円)だよ。

集落営農組織機械整備事業費補助金(上限80万円)

集落営農組織で共同利用の農業用機械購を更新する経費を補助するよ。補助率は対象経費の1/6以内だよ。

利用ください





開花時期には多くの人々が訪れる観光スポット(醍醐桜)

商工観光

商工業経営者融資補助 733万円

財源

市の負担 733万円

商工業の振興を図るため、市内の商工業経営者を支援するよ。経営者が融資を受けた場合の利子補給、および融資を受けるときの岡山県信用保証協会の保証料の補助や損失保証金などの一部を補償するんだ。

○観光振興

観光客誘致推進事業 2千230万円

財源

市の負担 2千230万円

真庭市に大勢の観光客が訪れるように、いろんな事業を行うよ。今年度は、岡山市や倉敷市で開催される

商工観光

観光施設整備事業 9千846万円

財源

ふるさと基金 90万円
市の負担 9千756万円

全国規模の大会(コンベンション)の参加者を真庭市へ宿泊誘致するんだ。誘致できた場合は、宿泊費やバス代の一部を補助するんだ。そのほかにも外国語パンフレットを作成して幅広く観光客誘致を進めるよ。

商工観光

観光事業負担金 960万円

財源

補助金 230万円
市の負担 730万円

開花時期に混み合う醍醐桜(落合)の近くに公衆トイレを設置するよ。それと、滝を近くで見ることができるよう神庭の滝(勝山)の遊歩道を整備するんだ。ほかに三木ヶ原(蒜山)の並木を再生する事業など、観光振興につながる事業を進めるんだ。

商工観光

観光事業負担金 960万円

財源

補助金 230万円
市の負担 730万円

主なものでは、秋に「岡山B級ご当地グルメフェスタin真庭(仮称)」を開催するよ。県内外から、ご当地グルメが一堂に会して、多くの皆さんに味わってもらえるような大きなイベントを予定しているんだ。市民の皆さんも、ぜひ、足を運んでくださいね。

バイオマス

○新産業振興
バイオマス産業創出事業 1千18万円

財源

国・県の補助など 399万円
市の負担 619万円

真庭バイオマスラボを拠点とした産業連携のコーディネートを行うよ。ラボ(貸し研究室)には現在2団体が入所して、バイオマス新技術の研究を進めているんだ。研究室の運営費や、人材育成にかかる実習やセミナー、シンポジウムなどの費用なんだ。

バイオマス

農商工連携等推進事業 778万円

財源

市の負担 778万円

農商工連携による共同研究開発や市内産業を発展させるための推進費だよ。真庭市産業サポートセンターの運営費、市内の企業や団体が連携して行う、新たなビジネスを創出する事業を支援する委託費なんだ。

バイオマス

SMART工場実証事業 354万円

財源

国の補助 351万円
市の負担 3万円

木質バイオマスの供給体制を整備する事業なんだ。また、木質バイオマスを燃料とするストーブ、ボイラー(農業用)の購入の一部を補助して、木質バイオマスの活用を推進していくよ。

バイオマス

木質バイオマス利用開発推進事業 1千73万円

財源

県の補助 813万円
市の負担 260万円

岡山県を含む12の機関との連携によって、新素材の技術開発費、バイオマス集積基地を拠点に、持続可能な地域基盤を作っていくための推進費なんだ。



木粉を使った技術開発が進んでいます(真庭バイオマスラボ)

II. 交流・連携を支えるまちづくり

広い真庭市で地域の連携や交流こそ一体感につながるよね。今年はそのように変わっていくのかな。



建設

道路網の整備

道路新設改良事業（補助、単独）

6億540万円

財源

国の補助 1億2千万円
市の負担 4億8千540万円
（うち市債 4億110万円）

道路の新設や改良として、道整備交付金事業で草加部線（久世）ほか2路線、辺地対策として長坂線（落合）ほか3路線、過疎対策として若代荒田線（勝山）ほか14路線、市単独で開田下線（落合）ほか8路線を整備する予定だよ。

建設

道路維持事業

2億1千667万円

財源

道路占有料 784万円
市の負担 2億883万円

市民皆さんの生活に不可欠な、市道の修繕や改修などを計画的に行っていくんだ。

建設

橋りょう修繕事業

1千128万円

財源

国の補助 300万円
市の負担 828万円

市道にかかる橋りょうの維持補修を行う事業なんだ。34橋の点検・修繕を計画。丸山橋（勝山）の修繕工事を行うんだ。

建設

除雪事業

8千166万円

財源

県の補助 965万円
市の負担 7千201万円

冬季における交通を確保するための除雪作業の委託料や、除雪機械の修繕費だよ。

市民

公共交通整備

過疎バス対策事業

1億4千716万円

財源

バス利用料ほか 2千754万円
市の負担 1億1千962万円

「コミュニティバス「まにわくん♡」の37路線を運行する経費だよ。平成19年度から運行を始めて22年度末まで約14万人超が利用したんだ。運

けど、古い住宅からの住み替えも受け付けるんだ。

企画政策

情報化推進

真庭ひかりネットワーク管理事業

3億2千155万円

財源

利用料など 3億1千584万円
市の負担 571万円

市内光ファイバ網の管理や音声告知放送設備・映像伝達施設の管理費だよ。真庭ひかりネットワークの活用として、ラジオを聞くことができるシステム、無線LANのアクセスポイントを整備するよ。



市役所本庁舎前で利用者を乗せて出発(まにわくん♡)

賃は距離に関わらず1回大人200円（小学生100円）なので、これからも多くの人に利用してもらいたいんだ。安全なバス運行を行うために、今年度コミュニティバスを1台購入するよ。

都市住宅

市街地整備

市営住宅建設事業

8千764万円

財源

国の補助 3千700万円
住宅使用料 3千774万円
市の負担 1千290万円

主なものは、落合地区にある雇用促進住宅を購入するんだ。60戸の住戸を確保することになるよ。購入する住宅は整備をして入居募集もする

しらうめ団地
(落合) 1区画 (全39区画)
1,725,000円～
面積 約236㎡～ (約71坪)

自分の家を建てたいけど土地代が不安な人は、電話で問い合わせてくださいね。団地の説明をするよ。 都市住宅課

国勢調査の速報値で真庭市の人口は48,976人となったんだ。前回と比べると約2,800人減少してるよ。市では、真剣に定住促進を考えていて、分譲宅地会計で分譲地を販売しているんだ。安く土地を購入して家を建て、幸せな家庭を築いてもらいたいな。



Ⅲ. 安心して暮らせるまちづくり

子どもからお年寄りまで、健康や福祉の取り組みを紹介するわ。



ラプリーちゃん

かる費用の一部を補助しているの。今年度から拡大して第2子以降の治療も、対象となりますよ。

健康推進

乳幼児、妊婦・乳児健康診査事業

4千382万円

財源

県の補助 609万円

市の負担 3千773万円

健康推進
不妊症・不育症治療支援事業
340万円

財源

市の負担 340万円

不妊症および不育症（妊娠しながらも流産・死産を繰り返す病気）のご夫婦への支援として、保険外にか

定められた内容の妊婦健診（14回）を無料で受けることができるのよ。今年から成人T細胞白血病とクラミジアの検査を追加したの。また、早期に聴覚障害があるかどうか発見す

健康推進

予防接種法による定期の予防接種 **無料**

定期接種

- ・BCG
- ・ポリオ
- ・麻疹・風疹(MR)
- ・ジフテリア・百日咳・破傷風(DPT)
- ・ジフテリア・破傷風(DT)
- ・日本脳炎

予防接種実施中

接種方法や料金など詳しくは、「平成23年度真庭市保健だより」をご覧ください。

国の緊急促進事業を受けての予防接種 **無料**

任意接種

- ・子宮けいがん
- ・ヒブ
- ・小児肺炎球菌

真庭市が独自で助成を行う予防接種 **有料**

任意接種

- ・高齢者肺炎球菌
- ・幼児・学童インフルエンザ
- ・高齢者インフルエンザ

※真庭市が接種料金の一部を補助します。

健康推進

予防接種事業 1億5千55万円

財源

県の補助 3千964万円

市の負担 1億1千91万円

結核予防法や予防接種法に基づく各種予防接種の費用なの。市独自の事業として、1歳から小学校6年生の子どものインフルエンザ予防接種、75歳以上の肺炎球菌の予防接種費用の一部負担を行っているのよ。今年から子宮けいがん、ヒブ、小児肺炎球菌予防接種の無料化も実施しているのよ、希望する人は受けてくださいね。



さて、調子はどうかな（1歳6カ月健康診査）

健康推進

健康増進事業・各種がん検診事業 3千144万円

財源

国の補助 239万円

利用負担金 275万円

市の負担 2千630万円

がん対策基本法に基づいて、がん予防と早期発見を推進するために、各種の検診を行うわ。女性特有のがん検診（乳がん・子宮がん）については、クーポン券を対象の人に送るので受診してくださいね。

福祉

福祉の充実

地域福祉計画策定事業 191万円

財源

市の負担 191万円

これまでにできていない真庭市の障害者計画・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・健康づくり計画・食育推進計画などを総括するものとして、新たに「地域福祉計画」を作るのよ。

福祉

社会福祉協議会負担金・補助金

財源

1億2千748万円

市の負担 1億2千748万円

福祉の向上を推進するために、真庭市社会福祉協議会へ補助金を出し

高齢者支援

ているの。内容は福祉活動の調査・連絡調整を行う専門員（9人）の設置費用や社協の運営にかかる費用などのよ。

○高齢者福祉の充実

高齢者支えあい訪問支援事業

701万円

財源

光をそそぐ基金 540万円
市の負担 161万円

高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができよう、支援員による定期的な見守り訪問を行うのよ。健康を維持して、生きがいを持って生きていきたいわ。細かな支援を行っていきいたいわ。



おやつ時間だよ！（めきっこ放課後児童クラブ）

高齢者支援

家族介護手当支給事業（介護特会）

2千65万円

財源

国県の補助 1千239万円
市の負担 826万円

在宅で要介護者（要介護4、5）を介護している人に、月額1万円の介護手当を支給する事業よ。

○子育て支援の充実

乳幼児・児童生徒医療費給付事業

2億670万円

財源

県の補助 4千518万円
市の負担 1億6千152万円

子育ての支援として、0歳から中学校卒業まで、医療費を全額負担するのよ。小学校就学前までは県が負担して、それ以上は市が独自で負担しているのよ。

子育て支援

子ども手当

9億5千91万円

財源

国の補助 7億5千511万円
県の補助 9千790万円
市の負担 9千790万円

子ども手当では、引き続き4月から9月までの6カ月間支給されるよ。10月分からは、今後、国において検討される予定なんだ。

子育て支援

児童扶養手当

1億9千38万円

財源

国の補助 6千346万円
市の負担 1億2千692万円

母子家庭の生活の安定を図るための手当よ。父子家庭においても申請により支給しているのよ。

子育て支援

放課後児童健全育成事業

3千221万円

財源

県の補助 2千103万円
市の負担 1千118万円

保護者が昼間家庭にいない児童を授業終了後や土曜日、長期休暇などに預かる「放課後児童クラブ」の活動を支援する事業なの。現在、市内には8つのクラブがあるのよ。

子育て支援

食事ネグレクト防止保育サービス支援事業

833万円

財源

光をそそぐ基金 698万円
市の負担 135万円

市内の保育園に栄養士を派遣して、園児の食育を推進していくのよ。併せて食事ネグレクト（家庭できちんと食事を与えないなどの児童虐待の一種）を防止するために、保護者に栄養指導を行う事業なの。

データ

市立保育園・幼稚園の園児数

保育園	988人（4月1日現在）	（人）
北房中央保育園	51	
北房水田保育園	32	
美川こども園 美川保育園	36	
木山保育園	59	
落合こども園 白梅保育園	125	
落合ひまわり保育園	65	
河内保育園	19	
旦土保育園	14	
久世保育園	72	

久世第二保育園	56
勝山保育園	150
月田保育園	33
富原保育園	14
美甘保育園	30
久見保育園	54
二川へき地保育所	7
中和保育園	24
八束保育園	101
川上保育園	46
幼稚園 332人（4月1日現在）	
中津井幼稚園	10

皆部幼稚園	4
阿口幼稚園	休園
上水田幼稚園	24
美川こども園 美川幼稚園	11
落合こども園 落合幼稚園	17
河内幼稚園	16
川東幼稚園	19
天津幼稚園	14
久世幼稚園	145
米来幼稚園	31
檉邑幼稚園	7
余野幼稚園	7
草加部幼稚園	27

※河内・川東・天津幼稚園は5歳児のみ

福祉

○障がい者(児)福祉の充実
障がい者の経済的自立環境創造支援事業 1千595万円

財源

光をそそぐ基金 1千515万円
市の負担 80万円

障がい者が経済的に自立できる環境を作る事業なの。共同受注、共同販売、商品の研究・開発の支援や、障がい者個人や事業者に対して情報提供やアドバイスをを行うのよ。

自立支援給付費 7億1千945万円

財源

国の補助 3億4千687万円
県の補助 1億9千596万円
市の負担 1億7千662万円

障害者自立支援法に基づく給付費なの。居宅介護・生活介護などの介護給付費や、自立訓練・就労支援、共同生活援助などの訓練等給付費、車いすの購入などの補装具費、指定した医療機関で受けた医療費を支払う事業なの。

福祉

福祉移送サービス事業 645万円

財源

利用者負担金 153万円
市の負担 492万円

自家用車やタクシーなどの公共交通

通機関の利用が困難な、高齢者や障がいのある人を対象とした、車いすスロープ車などでの移送サービス事業よ。

地域生活支援事業(福祉関連) 4千504万円

福祉

財源

国・県の補助など 1千941万円
市の負担 2千563万円

障がいのある人や家族の、さまざまな悩みに対応できるよう専従のコーディネーターによる相談体制を整備したのよ。発達障がいも個別の支援計画の作成やケース会議などの相談支援を行っているの。

地域生活支援事業(健康推進関連) 1千330万円

健康推進

財源

国・県の補助 166万円
光をそそぐ基金 53万円
市の負担 1千111万円

社会参加できにくい、ひきこもり傾向の方々や自殺者の増加が、真庭市でも問題になっているの。その予防として、家庭などから一歩外出できるサロンを開設するの。また、精神に障がいのある人の創作活動、生産活動を支援する共同作業所(2カ所)を運営するわ。



スロープ車で車椅子での移動も安心(移送サービス)

IV. 環境と共生したまちづくり

今年度から市民環境部を新設したよ。真庭市は環境の問題については取り組むよ。



まに ONE

○自然環境の保全・整備

地球温暖化対策事業 3千94万円

財源

国の補助 264万円
市の負担 2千830万円

地球温暖化対策として、住宅用の太陽光発電システム設置に補助金を出す事業だよ。今年度は60件の設置

消防本部

○消防・救急対策の推進
常備消防施設管理費 1億7千673万円

財源

国の補助 51万円
市の負担 1億7千622万円
(うち市債 1億4千750万円)

美作地区の3つの消防本部(津山・美作・真庭)で通信指令事務を共同で運用する経費なの。それと、老朽化している消防署本庁舎(久世)の耐震診断を行うわ。

を予定しているんだ。また、公用車として電気自動車も2台導入して、環境学習講座や環境イベントなど普及啓発への利活用も図っていくよ。

○環境整備の充実

資源回収推進事業 1千468万円

財源

市の負担 1千468万円

環境意識の向上と、ごみの発生抑制や減量化、再利用を推進するために、資源回収団体などへお金を出すよ。市内の回収団体は200団体あるんだ。



資源回収に取り組む生徒と保護者ら（北房中学校）

環境

○墓地公園・火葬場の整備
火葬場施設整備事業 500万円

財源
市の負担 500万円

改築整備を行う予定の真庭火葬場（久世）と北部火葬場（蒜山）の基本計画を策定するんだ。

墓地公園整備事業 1千710万円

財源
市の負担 1千710万円

近年墓地の需要が増えていて整備を進めているんだ。市営墓地（久世）を整備するための用地買収や補償、測量を予定しているよ。

水道

○上下水道の整備
簡水改良施設整備事業
（簡易水道事業特会）

2億5千195万円

財源
分担金 1千230万円
市の負担 2億3千965万円
（うち市債 1億9千560万円）

落合地区（田原山上・関・佐引）の水道が未普及の地域に水道を利用できるように整備するんだ。水源の調査や測量設計、飲用水供給施設の整備を行う予定なんだ。

下水道

公共下水道事業（公共下水道特会）

14億7千109万円

財源
国の補助 7億180万円
負担金 2千300万円
水道管移転収入 3千200万円
市の負担 7億1千429万円
（うち市債 6億5千520万円）

久世処理区、勝山処理区、落合処理区の下水道管渠工事を行うんだ。また、落合浄化センターの建設、久世浄化センターのろ過池の建設を行う予定だよ。

真庭市の環境と共生するための取り組みを紹介するよ。

二酸化炭素削減「国内クレジット制度」認証

二酸化炭素排出削減分を企業に売却する制度だよ。（株）トンボと協定を結んで里山整備などを進めるんだ。

CO₂見える化事業

各家庭の二酸化炭素排出量をウェブ上で集計し、「見える化」を行うことで、家庭での省エネルギーや地球温暖化対策などの環境意識の向上を図る事業を進めるよ。

生ゴミ資源化促進モデル事業（家庭ごみ減量化）

家庭から出る生ごみを回収して、堆肥化を行う実証実験を行うんだ。

資源回収団体の報奨金増額

再利用可能な資源の回収を行う市民団体の報奨金を、回収量1^{kg}.4円から1^{kg}.5円に増額するんだ。

環境学習出前講座を開催

小学生を対象に、水辺の学習やエコ体験など環境を学べる講座を開催しているよ。

公用車に電気自動車を導入

電気自動車2台、急速充電器1基を購入するよ。

住宅用太陽光発電システム設置補助金

クリーンエネルギー利用促進を支援するよ。

環境パトロール出動

不法投棄の監視パトロールを実施しているよ。



建設中の下水道処理施設（落合浄化センター）

下水道

合併浄化槽整備推進事業
（一般会計・浄化槽事業特会）

7千622万円

財源
国・県の補助 2千723万円
負担金 600万円
市の負担 4千299万円
（うち市債 3千550万円）

今年度から浄化槽の整備の方法が変わったんだ。公共下水道などの整備計画のない地区は、市が浄化槽を設置するんだ。整備計画のある地区については、個人が設置する浄化槽に補助金を出すと、いう2つの方法で浄化槽の整備を推進していくよ。

V. 人と文化を育むまちづくり



○学校教育の充実

学校施設整備事業

10億2千548万円

財源

国の補助 2億2千467万円
 学校整備基金 9千595万円
 市の負担 7億486万円
 (うち市債 6億3千30万円)

学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす場であるとともに、災害



市内小・中学校の耐震補強工事が着々と進んでいます(勝山中学校)

平成23年度学校施設整備の主なもの

小学校

八束小学校校舎新改築工事
 勝山小学校屋内運動場耐震補強事業(設計)
 湯原小学校屋内運動場耐震補強事業(設計)
 美甘小学校プール整備事業

中学校

勝山中学校屋内運動場新改築工事
 蒜山中学校屋内運動場耐震補強工事
 落合中学校特別教室新改築事業(設計)
 落合中学校校舎耐震補強事業(設計)
 蒜山中学校校舎新改築事業(設計)

時には地域住民の避難場所の役割を果たすことから、安全性の確保はとても重要なことなんだ。ところが市内の小・中学校を耐震診断したところ、十分な耐震性が認められない施設があることが分かってきたんだ。そこで、市は耐震性の低い施設から新改築や耐震補強工事を行っているんだ。今年度の事業は左の通りだよ。耐震診断の結果を見て計画的に耐震補強を進めて行くんだよ。

学校教育

教育相談事業

754万円

財源

県の補助 10万円
 光をそそぐ基金 228万円
 市の負担 516万円

教育相談員が、不登校児童生徒への適応指導を行い、学校への復帰を手助けしているんだ。市内の学校を訪ねたり、児童生徒や保護者の相談に乗ったりしているよ。新しい施設も開設に向けて準備中だ。学校に行きにくくて困ったことがあった

学校教育

遠距離通学支援事業

1億2千27万円

財源

国の補助 45万円
 市の負担 1億1千982万円

市内小・中学校のスクールバスや、スクールタクシー運行委託料などだよ。通学条件の整備や学校統合などのため、遠距離から通学する児童・生徒の通学を支援するんだ。

ら、気軽に相談してほしいな。

データ 市内小・中学校の児童生徒数(参考)

小学校 (人)		中学校 (人)	
中津井小学校	61	月田小学校	73
皆部小学校	33	富原小学校	44
阿口小学校	13	美甘小学校	55
上水田小学校	87	湯原小学校	93
水田小学校	74	二川小学校	20
落合小学校	158	中和小学校	35
天津小学校	144	八束小学校	151
津田小学校	14	川上小学校	104
木山小学校	130	合計	2,542
美川小学校	115		
河内小学校	62	北房中学校	170
川東小学校	133	落合中学校	378
遷喬小学校	443	久世中学校	365
草加部小学校	55	勝山中学校	205
米来小学校	122	美甘中学校	31
檜邑小学校	27	湯原中学校	51
余野小学校	14	蒜山中学校	144
勝山小学校	282	合計	1,344

※平成23年4月1日現在の人数です。

生涯学習

○生涯学習の推進
生涯学習推進事業 861万円

財源

利用負担金など 62万円
市の負担 799万円

文化活動やスポーツ活動など、さまざまな世代の人に学習機会の提供や支援を行うんだ。各地区で行われる生涯学習講座や講演会の費用も含まれているよ。

生涯学習

○文化芸術・学術の推進
文化財保護事業 1千371万円

財源

県の補助 663万円
市の負担 708万円

文化財の保護・活用を目的として、文化財資料を整理したり、高田城跡(勝山)を整備したりするんだ。また、「真庭の民話」刊行事業などを行っているよ。

生涯学習

○スポーツレクリエーションの推進
社会体育推進補助金 2千239万円

財源

市の負担 2千239万円

生涯を通してスポーツに親しんでもらうために、地域総合型スポーツクラブ、体育協会、スポーツ少年団、地区の運動会や各種スポーツ大会などに補助金を出すよ。

生涯学習

○人権意識の高揚
人権教育推進事業 939万円

財源

県の補助 23万円
市の負担 916万円

市内各所で開催する人権講演会や人権啓発作品などの募集を通して人権教育の推進を行うんだ。



市内の各公民館などで行われる生涯学習講座にはたくさんの市民が参加しています(押し花教室：久世公民館)

企画政策

協働のまちづくり推進事業

財源

県の補助 292万円
市の負担 412万円

704万円

地域自主組織やボランティア団体、NPO等の活動を支援するため

企画政策

○住民主体のまちづくりの推進
地域づくり推進事業

財源

市の負担 4千522万円

4千522万円

住民主体・住民参加のまちづくりを推進するための補助事業だよ。魅力ある地域づくり事業では、地域自主組織や地域づくり委員会が実施する地域活動事業に対して補助金を交付するよ。小規模高齢化自治会等支援事業では地理的条件や高齢化などにより地域活動が困難となっている自治会に補助金を出すんだ。

ほくも
地域づくりが大
好きだよ。地域
が元気になる予
算を伝えるよ。



キリタロー

VI. みんなで築くまちづくり

の拠点施設として開設する「真庭市市民活動団体支援プラザ」を運営する費用だよ。

企画政策

集落機能再編・強化事業 475万円

財源

県の補助 277万円
市の負担 198万円

単独で集落機能の維持が困難な集落が存在する地域をモデルに選定して、集落機能の維持を目指した地域の取り組みに対して補助する事業で、3地区を予定しているんだ。また、住民と行政の橋渡し役をしていただく集落相談員を配置することができるんだ。

企画政策

振興局・支局振興事業調整費

財源

市の負担 1千万円

1千万円

振興局・各支局長の権限で予算を執行できる調整費なんだ。人口の減少や高齢化が進展して、地域が停滞したり、生活に密着した公共施設等の小規模な整備・維持管理など困っている状況があった場合に使うものなんだ。

危機感を持つことが大切なんだ

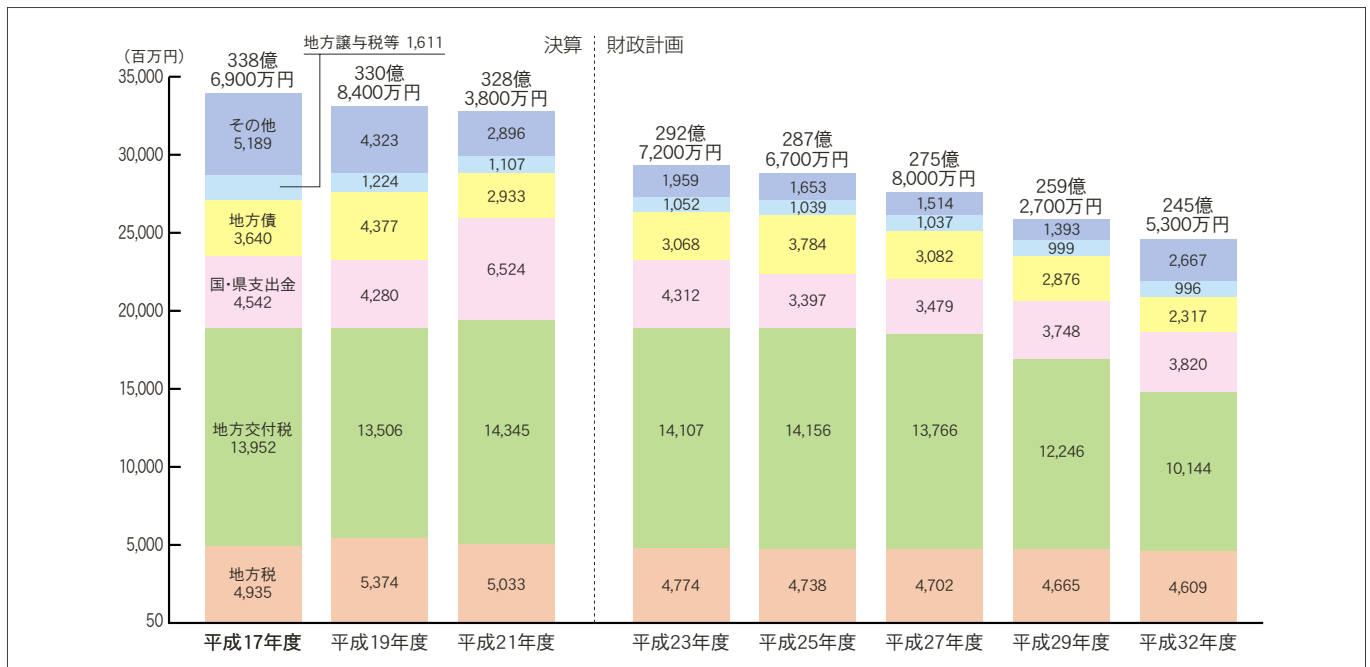
財政計画



いよいよ俺たちの出番だぜ。財政計画は真庭市総合計画の事業を計画的に行っていくために、将来の財政見通しを予想できる範囲で明らかにしたものなんだ。総合計画との調整、新年度予算との整合を図るため毎年見直しをしている。最新の見直しを行なった財政計画を説明するぜ。

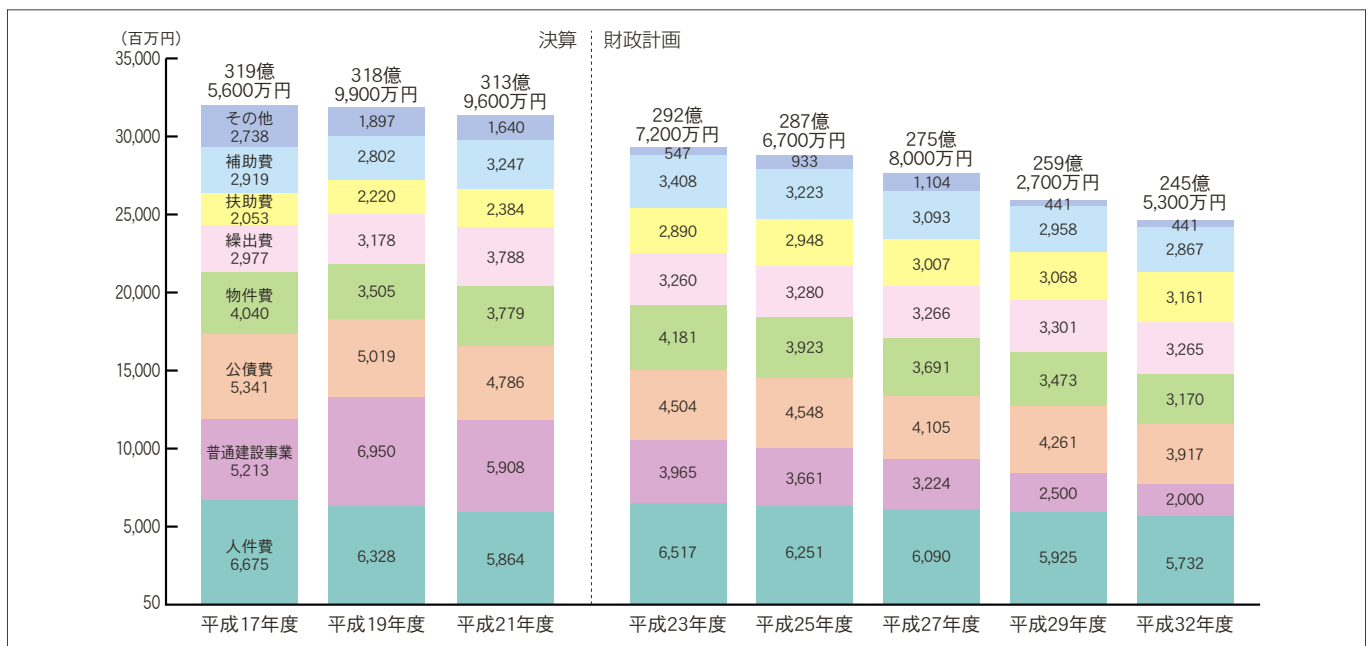
歳入の決算と推移(一般会計)

(百万円)



歳出の決算と推移(一般会計)

(百万円)

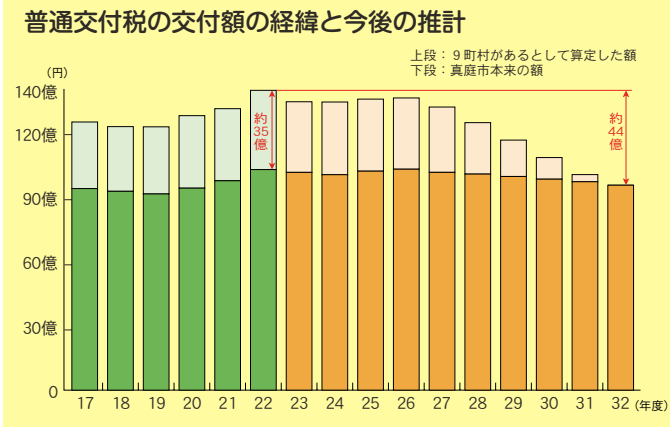


※平成23年度は平成22年度からの繰り越し分を含んでいるので、平成23年度予算額283億円より大きくなっています。



真庭市が合併して6年が経過したね。合併2年目の平成18年に、10年後(平成27年度)の真庭市が健全で活力に満ちた市であるように振興策を盛り込んだ、真庭市総合計画が完成したんだ。

財政計画は、総合計画で行われる事業を推進するために、将来お金のやり繰りができるかどうかを見通そうと同時に作られたものなんだよ。そのときに心配だったのは、将来の普通交付税の減額だ。地方交付税のうち多くを占める普通交付税は、現在、35億円以上余分にもらっているんだ。これは合併の特例として、合併前の9町村が現在も存在している



るとして額を積算するからなんだ。一般的にたくさん町村が合併した市は、この差が大きいようだね。でも、この特例は合併10年後から5年間に下げられる。真庭市の場合、32年度には22年度実績と比べて約44億円減ると推測されるんだ。

将来、収入が減ることが分かっているの、必要な事業は計画的に行わないといけないし、経常的な経費は削減していこうという目標が財政計画に含まれているんだよ。そして決算、予算、総合計画事業の実施状況に合わせて毎年見直しをしているんだ。



それでは最新の財政計画の中身を見てみよう。

歳入は、国勢調査人口の速報値を参考に、地方税、使用料などはわずかな減額を見込んでいます。地方交付税はコスモスイエローが説明したように、27年度から大きく減となる。国・県補助金や地方債は、総合計画の実施計画に合わせて推計しているんだ。

歳出では、人件費を27年度には654人、32年度には582人で推計している。物件費、補助費は年間3割の減額を目標にしているんだ。扶助費は福祉関係の増額要因が考えられるので、少しずつ増額。普通建

設事業は総合計画の実施に沿って推計しているんだ。

合併10年後の27年度には約276億円、合併15年後の32年度で245億円になるように歳出をぐっとしぼっているけど、29年度からは財源不足(収入が足りない状況)が起りそうなんだよ。



将来、財源不足が起こることは心配だけれど、対策を何もしていない訳じゃない。右下の表を見てほしい。起債残高とは、市が借り

ている借金の総額なんだ。合併当初には約706億円あったんだけど、21年度には約675億円(差額31億円)まで少なくなりました。もちろんこれからも削減していく予定だよ。

主な数値の決算数値と推計値

年度	職員数 (普通会計職員)	起債残高 (一般会計+特別会計)	財政調整基金 残高
合併当初(平成17年)	837人	706億4,532万円	28億3,723万円
平成19年度(2007)	792人(△45人)	717億8,398万円	48億7,405万円
平成21年度(2009)	743人(△94人)	675億1,594万円	72億382万円
平成23年度(2011)	696人(△141人)	653億7,000万円	88億2,000万円
平成25年度(2013)	679人(△158人)	641億2,800万円	89億3,900万円
平成27年度(2015)	654人(△183人)	607億4,700万円	95億2,400万円
平成29年度(2017)	621人(△216人)	568億600万円	99億6,400万円
平成32年度(2020)	582人(△255人)	507億3,600万円	67億5,500万円

※職員数のかっこは合併当初職員数との差

財政調整基金は、市の貯金みたいなもの。合併当初は約28億円だったものを21年度には72億円まで貯めたんだ。このように、健全な財政が持続できるように常に危機感を持って運営しているんだ。

しかし、単なる計画だと思われては意味をなさない。職員はコスト意識を持って行政サービスを提供できるように頑張っている。市民の皆さんもふるさと真庭市のことに関心を持ち、将来の真庭市のことを真剣に考えてほしいと思う。そのためなら、おれたちも協力を惜しまないぞ。みんな協力すれば、どんなことだってきつと乗り越えられるはずだよ。



ももち



まに ONE



コスモスレンジャー



スイスイくん



マナビー



うらっち

広報まにわ別冊
平成23年度
真庭市当初予算の概要

発行年月
平成23年(2011年)5月1日

発行
岡山県真庭市

編集

真庭市 総務部 秘書広報課
〒719-3292 岡山県真庭市久世2927-2
TEL(0867)42-1163 FAX(0867)42-1341